

日本産業衛生学会東北地方会ニュース

# みちのく

No.71

5/30

2024

発行/令和6年5月30日・発行所/日本産業衛生学会東北地方会事務局

住所/〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町2-1 (東北大学大学院医学系研究科産業医学分野内)

電話/022-717-7874・FAX/022-717-7883・e-mail/sanei-michinoku@doh.med.tohoku.ac.jp・発行人/黒澤 一

## 第83回日本産業衛生学会東北地方会開催に向けてご挨拶

第83回日本産業衛生学会東北地方会 学会長  
東北大学大学院医学系研究科産業医学分野  
教授 黒澤 一

雪解けから緑の若葉の季節になりました。先日は太陽が大規模なフレアを起こし、強い太陽風によって地球では各地でオーロラが観測され、見る人を楽しませてくれました。私は偶然そのピークのときに北海道にいたのですが、札幌では夜が明るすぎたのでしょうか、空を見ても確認できませんでした。今年は、能登の震災から始まるなど、東日本大震災を経験した我々東北に住むものとして他人事ではありませんでした。

このように、スケールがあまりにも大きな天変地異の前では我々は小さな存在です。ただただ季節を楽しんだり、突然の自然の変化に感動したり驚嘆したり、災害を悲しんだり復旧に力を尽くしたり、できることをしていくしかないのだと思ひ至ります。そういう意味で、私たち産業保健の分野で役割を果たして行こうという者には何ができるのでしょうか。

私たち一人ひとりの力には限界があるでしょう。しかし、小さい人間でも多数が力を合わせていければ、少なくとも足し算の力、運が良ければ掛け算で効果が表れることもあるでしょう。学会という組織は、そういう意味で重要です。ぜひ、一人一人の力を合わせて前に進んでいければと思います。生かすも無駄にするにも我々次第、今夏は仙台で地方会が開催されますが、これからの産業保健の未来像をともに創造していきましょう。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 第 83 回日本産業衛生学会東北地方会開催要項(第 2 報)

### メインテーマ「産業保健の未来展望」

日 時：2024 年 7 月 26 日（金）～7 月 27 日（土）  
会 場：東北大学医学部星陵オーデトリウム、大会議室、小会議室 1, 2 ほか  
開催形式：現地参加を基本としますが、一般口演、特別講演、産業保健看護の集い  
のみ WEB で同時配信します。

### < 日程 >

#### ■2024 年 7 月 26 日（金）事業所見学 定員：30 名 参加費：2,000 円

14:00～16:00 事業場見学（プライムアース EV エナジー株式会社 宮城工場）  
〒981-3409 宮城県黒川郡大和町流通平 1  
講師：大内 みやこ 先生（大内産業衛生事務所）  
(日本医師会認定産業医制度研修会 生涯研修単位 実地 2 単位申請中)

18:00～20:00 懇親会  
会場：仙台トラストタワー1F Pizzeria LAVAROCK  
会費：6,000 円

#### ■2024 年 7 月 27 日（土）日本産業衛生学会東北地方会 参加費：2,000 円

受付開始 9:00～  
開 会 9:25～

1) 一般演題（10 題前後を予定）9:30～11:50 { 会場：星陵オーデトリウム }

2) 役員会 12:00～12:55 { 会場：大会議室 }

3) 総 会 13:00～13:30 { 会場：星陵オーデトリウム }

4) 特別講演 13:30～15:00 { 会場：星陵オーデトリウム }

演題：「ゲノム情報に基づく発症リスク評価と産業保健」  
講師：泉 陽子 先生（東北大学メディカルメガバンク機構 副機構長 健康政策分野 教授）  
(日本医師会認定産業医制度研修会 生涯研修単位 専門 1.5 単位申請中)

## 5) 各部会行事 15:10～16:40

\* 第 28 回産業医協議会 { 会場：星陵オーデトリウム }

演題：「HPV ワクチン接種の意思決定—名古屋スタディより～働き盛りの女性をがんからまもる」

講師：鈴木 貞夫 先生（名古屋市立大学大学院医学研究科 公衆衛生学分野 教授）

（日本医師会認定産業医制度研修会 生涯研修単位 専門 1.5 単位申請中）

\* 第 30 回産業保健看護の集い { 会場：大会議室 }

演題：「業務遂行レベルにもとづくメンタルヘルス対応 2024」

講師：高尾 総司 先生（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野 准教授）

（専門 1 単位申請中）

\* 産業衛生技術部会 { 会場：小会議室 2 }

詳細未定

\* 産業歯科保健部会 { 会場：教育研究基盤棟 2 階 医学部第 2 セミナー室 }

詳細未定

## <参加申込み方法>

参加申し込み：下記 URL もしくは末尾の QR コードより申し込みをお願いいたします。

（電話や FAX での申し込みはできません。）

<https://forms.gle/WFUnk3T1jPcCq6zo6>



**【事務局】**

東北大学大学院医学系研究科産業医学分野

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町 2-1

TEL : 022-717-7874 FAX : 022-717-7883

**産業医部会****産業医協議会の案内および第 98 回日本産業衛生学会に向けて**

医療法人健友会 本間病院

菅原 保

福島県立医科大学医学部衛生学・予防医学講座

各務竹康

本年度も 7 月に仙台市で開催予定の第 87 回日本産業衛生学会東北地方会において、産業医協議会を企画しております。名古屋市立大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野の鈴木貞夫先生をお招きし、「HPV ワクチン接種の意思決定—名古屋スタディより ～働き盛りの女性をがんからまもる」と題して講演をいただく予定です。

子宮頸がんは、働き盛り世代、子育て世代の女性に後発し、“mother killer”とも呼ばれております。一方で、ワクチンの開発により、予防可能ながんの一つに位置付けられつつもあります。日本では定期接種に位置付けられたのち、副反応の報告が相次いだことで 2013 年にいったん積極的勧奨を中止しましたが、2021 年にふたたび勧奨を再開しました。この再開に名古屋スタディは大きく貢献しており、本研究を中心となり実施した鈴木先生より、研究の内容、HPV ワクチンを取り巻く社会情勢などお話しいただく予定です。

話題は変わりますが、皆さまご存じのとおり、2024 年 5 月に、仙台を会場として、第 98 回日本産業衛生学会が開催されます。本学会は近年オンラインも含めると参加者が 4000 人を超えており、東北地方会一丸で取り組む必要があります。産業医部会の皆様にも、是非セ局的に参画し、会を盛り上げていただけたらと思います。現在実行委員になっていただける方を募集しております。自薦、他薦どちらも歓迎です。各務([bamboo@fmu.ac.jp](mailto:bamboo@fmu.ac.jp))まで、適任者がおりましたら、お知らせください。



**産業保健看護部会****産業保健看護部会報告**

東北地方会 産業保健看護部会 幹事  
NTT 東日本 総務人事部医療・健康管理センタ  
村越亜弥子  
山形大学大学院医学系研究科看護学専攻地域看護学分野  
森健 祐子

2022～2023年と産業保健看護の定義作成、部会名を「産業保健看護部会」へと変更し、新しいテキスト発刊まで完了しました。2024年度は産業保健看護職のさらなるレベルアップを目指し、入職前教育作成への協力、キャリアラダー作成への検討、法制化に向けた検討、等引き続き活動を続けていく予定です。さて、今年の学会活動について2つお知らせです。

■2024年7月26日（金）～27日（土）「第83回日本産業衛生学会東北地方会」宮城で開催されます。産業保健看護部会としての研修会も開催予定です。皆様もご存じの「高尾メソッド」でも有名な講師の先生をお招き予定です。詳細は学会HPの東北地方会に掲載されますのでご確認ください。

★第31回産業保健看護のつどい 7月27日（土）15:00～16:30

・「業務遂行レベルにもとづくメンタルヘルス対応2024」

講師：高尾総司先生（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授）

・産業保健看護部会 東北地方会総会

■2024年10月5日（土）10時～16時「産業保健看護部会特別プログラム」

こちらは第34回日本産業衛生学会協議会ジョイント企画となっております。

・「産業保健看護職のための職場診断」

講師：五十嵐千代先生（東京工科大学医療保健学部看護学科 教授）

ランチ交流会を経て、午後はディスカッションメインの「事例・活動報告会」です。

皆様、奮ってご参加ください。

**<参加申込み方法>**

<https://forms.gle/YuZMSxrbgFyawjAk8>



**産業衛生技術部会**

<産業衛生技術部会からのお知らせ>

**令和6年度産業衛生技術部会活動計画等**

東北地方会幹事

河合 直樹

**■東北地方会（2024年7月27日：仙台）****◎情報交換会**

当部会では、懇親と交流の場を提供することを目的に、毎回、開催県内で活躍しておられる産業衛生技術関係者から話題提供していただき、和気あいあいとした雰囲気、情報交換を行っております。今回は、下記のとおり、東北大学医学系研究科研究安全管理室 中村 剛氏から、「作業環境管理専門家としての技術者倫理」をテーマに話題提供いただく予定です。多数の参加をお待ちしております。

**【講師プロフィール等】**

以前は健康診断を実施する組織にて、環境計量士や作業環境測定士の業務を行ってまいりました。その後、東北大学に着任しましたので、学内外の分析や測定を行っております。化学物質管理といっても関係する法令が多すぎて困っています。

**【講演要旨】**

令和6年4月1日以降、特別則に基づく作業環境測定の評価結果が第三管理区分に区分された事業場に対しての措置義務内容が強化されます。この省令改正によって、作業環境測定の結果が第3管理区分に区分された事業場は、作業環境管理専門家から作業環境の改善の可否、改善方法等の意見聴取を行い、その意見に基づいて、作業環境整備を行うことが必要となります。作業環境管理専門家の意見聴取は、客観的で幅広い知見に基づく専門的な意見が得られるよう、当該事業場に所属しない外部の専門家からの意見聴取が必要となります。作業環境管理専門家の要件となっている作業環境測定士も、これまで以上に高い水準での技術者倫理観が求められることになると考えられます。

**■第97回日本産業衛生学会（2024年5月22日～25日：広島）****◎産業衛生技術部会関連の主なプログラム**

**【産業衛生技術部会フォーラム】5月25日（土）16:00～18:00【第3会場】**

化学物質の自律的管理の実践ー現場でのリスクアセスメントと測定ー

**■第34回日本産業衛生学会全国協議会（2024年10月3～5日：千葉県木更津市）**

**産業歯科保健部会****7月の地方会の部会案内**

産業歯科保健部会幹事

井川 資英

先日某テレビで「「お客様は神様」は古い? 深刻化するカスタマーハラスメント」という番組を観ました。私ども医療従事者にとっては所謂「モンスターペイシャント」に置き換えられるテーマと言える内容でした。昨今医療現場では「モンスターペイシャント」には自身があるいは同僚が日常的に遭遇しており、その際の対応については個人のスキルの問題と捉えられがちなのにも感じられます。ただ、我々のような産業衛生に関わり「快適職場」を願う者としては、「安全配慮義務」などといった視点も含めて組織的に医療従事者を支えていくことが大切だと考えます。7月に仙台で開催されます地方会では歯科保健部会として「(歯科)医療分野でのカスタマーハラスメントの理解と対応」を取り上げ、カスハラ対応のバックグラウンドとなる法的な枠組みと取り組み方に関する勉強会(公開セミナー)を開催したいと思います。

ところで、産業保健分野で話題となることが多いことの一つに「プレゼンティーズム」があります。近年では歯周病と全身疾患との関連が明らかになってきているなか、歯科領域の疾患とプレゼンティーズムとの関連についても知見が得られてきています。地方会では、こうした「口腔とプレゼンティーズムとの関連」について働き盛りの方々の体験談を交えながらご報告させていただきます。



## 「みちのく」編集委員のご紹介

今年度から、東北地方会誌「みちのく」の編集委員会が編成されました。今後、本誌の企画・編集でご活躍いただく皆様です。今回は、6名の編集委員の皆さんから自己紹介をいただいておりますので、ご紹介させていただきます。(五十音順)

### 「みちのく」御挨拶

石巻赤十字病院 産業医  
荒川 梨津子



日本産業衛生学会東北地方会の皆さま、こんにちは。宮城の石巻赤十字病院で専属産業医をしております、荒川と申します。この度、「みちのく」

の編集委員を仰せつかりましたので、自己紹介させていただきます。

私は宮城生まれ・宮城育ちで、大学時代(産業医大)を福岡で過ごした以外はずっと宮城です。臨床研修後、東北大学大学院産業医学分野を経て、今の石巻赤十字病院に勤め始め早8年目となります。いろいろ失敗を重ねながらも、東北大の先生方をはじめ多くの方々にご指導いただきながら何とかやっております。

東北地方会は、人数は少ないながらも繋がりは強いと感じており、特に地方会学会の際の懇親会の盛り上がりは他にはなかなかないと思います。そのような場での交流が、その後の自身の活動をより広げてくれたことがこれまで何度もありました。この繋がりをより強固なものにできるように、「みちのく」を盛り上げていけたらと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

### ご挨拶

福島県立医科大学医学部  
衛生学・予防医学講座  
助教 遠藤翔太



はじめまして。福島県立医科大学の遠藤翔太と申します。編集委員にまぜていただき、大変うれしく思っております。卒後11年目になりますが、学会運営に本格的に携わらせていただくのは今回が初めてです。皆さま、どうぞ宜しくお願い致します。

私は、「アットホームな雰囲気」「顔の見える関係性」の東北地方会が好きです。地方会発表後に「大切な取り組みだから続けなさい」と激励のお言葉を頂戴したことや、懇親会で「ちゃんと頑張ってますか？」とお声がけをいただいたなど、地方会の思い出は昼も夜もたくさんあります。昨年までは、仙台錦町診療所広瀬先生のもとで、産業衛生専攻医の研修を受けさせていただきました。東北育ちの産業医として、これまでに頂いたご指導・支援に恩返しできるように、編集委員の仕事を少しずつ覚えて頑張っていきます。



## ご挨拶

秋田魁新報社  
保健師 柏谷郁美



はじめまして。秋田魁新報社で産業保健師をしている、柏谷郁美と申します。このたび、「みちのく」の編集委員を務めさせていただくことになりました。

バスケの街として有名な秋田県能代市にほど近い三種町で生まれ育ち、学生時代はバスケットボールに夢中になっていました。現在は、バスケットボールに打ち込む中学3年生の長女と小学6年生の長男の応援する傍ら子どもに負けじとレフリーとしての活動をしています。

看護師として15年間の病院勤務を経験したのち、秋田魁新報社へ入社しました。産業保健師としては4年目になります。まだまだわからないことばかりですが、産業保健師の先輩方に助けられ何とか活動しています。編集委員の活動を通してたくさんの方々と出会い、つながれることを大変楽しみにしています。皆さまのお力をお借りして精一杯頑張っておりますのでどうぞよろしく願います。



## ご挨拶

NX 商事株式会社仙台支店  
秋田大学大学院医学系研究科  
衛生学・公衆衛生学講座  
後藤 豊美



はじめまして。この度編集委員になりました、NX 商事株式会社仙台支店後藤と申します。

また春から、社会人学生として秋田大学大学院医学系研究科衛生学・公衆衛生学講座修

士課程へ進学しました。

産業保健師としては6年目になりました。産業保健を始めた当初は右も左もわからない状況でしたが、多くのご縁に恵まれ、つながりに救われてきたおかげで、今もこうして産業保健活動が続けることができます。県内には、私と同じように一人職場で孤軍奮闘している産業保健看護職が多くいます。そんな産業保健看護職がつながれる場と、情報を得る機会が作れたらと思い産業保健看護部会宮城運営委員をさせていただきます。

プライベートでは、中学1年と小学4年の子どもがいます。趣味は硬式テニス、ゴルフ、スノーボードでアクティブに活動しています。また酒蔵巡りをするほど日本酒が大好きです！

編集委員として、みなさまを「つなぐ」活動をしていきたいです。

## ご挨拶

安倍歯科医院  
院長 小林崇之



歯科保健部会から「みちのく」編集委員になりました、秋田市で歯科医院を開業している小林崇之です。歯科

保健部会では部会長の井川先生を中心に福島県を除く5県7名の歯科医師、衛生士と2か月に一回位のペースでリモート勉強会をしております(こちらをみた福島県の先生、東北地区の歯科医師の先生ご連絡お待ちしております)。産業歯科での大きな出来事としては2022年10月度から歯科特殊健診の義務化が始まりました。

労働衛生コンサルタントを取得したものの、活用の機会があまりなく経験も未熟でしたが歯科保健部会の先生皆に相談する事ができ、担当理事だった秋田市歯科医師会でも円滑に開始する事ができました。歯科ではこのような多職種連携の勉強の場が少なく診療へのプラスになる事が多いです。

「みちのく」でもいろいろ勉強させていただき、また産業歯科情報を提供出来ればと思います。今後とも何卒よろしくお願いいたします。



## ご挨拶

東北大学大学院医学系研究科  
研究安全管理室  
中村 剛



はじめまして。東北大学医学部研究安全管理室の中村剛と申します。この度、みちのく編集委員を務めさせて頂くことになりました。ご迷惑をお

かけすることもあると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

私はこれまで作業環境測定士として、産業界の作業現場や東北大学の実験室における作業環境測定を行ってまいりました。作業環境測定士をしていて、製造現場をはじめ様々な職場を見せていただいたことや、作業業者の方と直接お話する機会があったことは、とても良い経験であったと感じております。

東北地方会では、技術部会での情報共有や研鑽はもちろんのこと、業種を超えた繋がりが非常に楽しく参加させていただいております。また、学会発表では、東北地方会の皆様からとても温かくご指導いただきました。

これからは編集員として、少しでもお役に立てるように励んで参りたいと思います。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

## ☆ 代議員選挙について ☆

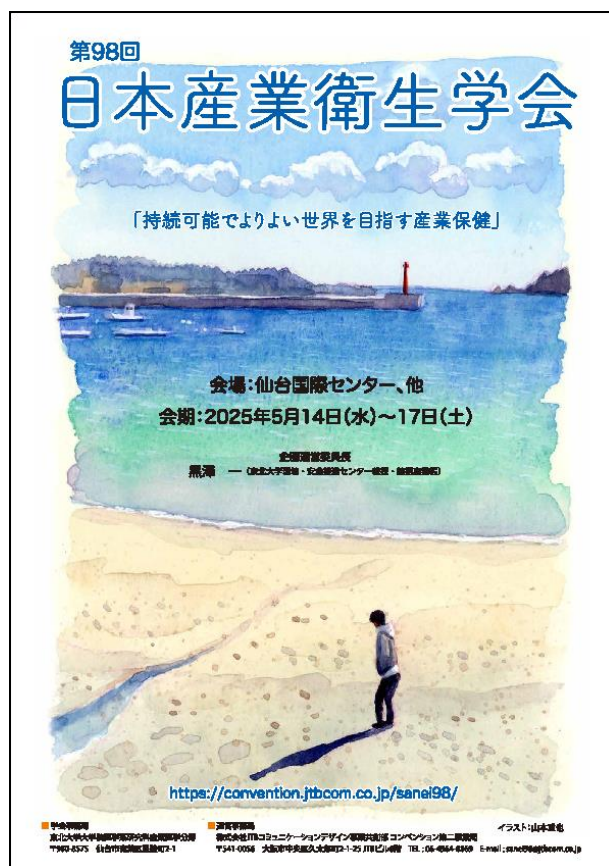
中央選挙管理委員  
(岩手医科大学衛生学・公衆衛生学講座)  
田鎖愛理

2024年度は、代議員任期終了年度ですので、代議員選挙につきまして、後日公示がございます。詳細は日本産業衛生学会「代議員の選任に関する規定」をご参照願います。

<https://www.sanei.or.jp/about/regulations/others/#daigiin>

## ☆☆ 第98回日本産業衛生学会のポスターが完成しました ☆☆

2025年5月14日(水)～17日(土)に仙台市で開催される第98回日本産業衛生学会のポスターが完成しました。2019年度開催の全国協議会と同様に、仙台市在住のイラストレーター山本重也氏のデザインです。



## ☆☆☆ 地方会 HP リニューアルのお知らせ ☆☆☆

本誌「みちのく」を掲載するなどしてきた東北地方会 HP ですが、今回、新たにリニューアルする事になりました。現在、外部業者に委託して新たな HP を作成中です。8月頃に公表の予定です。どうぞご期待下さい。

# 産業保健看護とうほく

第44号 2024.5

発行者:日本産業衛生学会東北地方会  
産業保健看護部会

連絡先:〒984-8519

宮城県仙台市若林区五橋3-2-1

NTT東日本 健康管理センター 村越亜弥子

発行責任者:村越亜弥子・森鍵祐子

## ◎ 第30回産業保健看護のつどいのご案内

2024年7月26日(金)~27日(土)に、第83回日本産業衛生学会東北地方会が宮城県仙台市で開催されます。第30回産業保健看護のつどいは、日頃産業保健看護職が悩むことの多いメンタル不調者の職場復帰支援がテーマとなっております。

今回は講演受講にあたり「事前学習付き」の新しい形式での講演会開催となります。

講師は「ルール・業務遂行レベルに着目したメンタルヘルス対応(通称:高尾メソッド)」を提唱されている高尾総司先生です。

多数のご参加をお待ちしております。

【日時】2024年7月27日(土) 15:10~16:40

【会場】東北大学医学部開設百周年記念ホール  
星陵オーデトリウム 大会議室  
(宮城県仙台市青葉区星稜町2-1)

【講演】「業務遂行レベルにもとづくメンタルヘルス対応」

【講師】岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 高尾総司 先生

🌸お申込みいただいた方へは事前視聴URLを送ります  
(事前に視聴できなかった場合でも当日ご参加いただけます)



**[青森]** ◆3/11青森県看護者協議会、健保連、青森産業保健総合支援センターの三者合同研修会を開催。

「働く人の頭痛」をテーマに学び合う

◆就業者の高齢化の中、労働事故の発生が増えているとの情報あり

◆特殊健診ではリスクマネジメント健診施行、ガイドラインの通達あり。来年度の本格実施に向けて事業所、健診施設で体制構築中

**[秋田]** ◆秋田産業保健総合支援センターの事業「転倒・腰痛対策」「新しいテーマ・講師のセミナー」

①少林寺拳法で介護ができる ②いまさら聞けない健口づくりの新？常識！ ③月経異常や性感染症等に関する不妊症との関係、若年層の早期受診の大切さ ④労働者の健康管理腰痛予防

◆秋田県産業看護職の会の活動：月1～4回のメール配信継続、相談対応、研修会実施

◆他所との連携：看護協会の保健師連絡協議会に産業保健分野から新参加、県、労働局との連携、日赤秋田看護大学への協力

**[山形]** ◆保健所：9/27 糖尿病及び慢性腎病重症化予防に関する研修会・情報交換会：糖尿病及び慢性腎病重症化予防プログラムについて、取り組み事例、医療機関との連携ポイント

12/15 地域保健・職域保健連絡協議会：令和6年度からの標準的な健診・保健指導プログラムの実施、実施に向けての準備状況

◆山形産業保健総合支援センター：5/17 産業看護職事例検討会、10/20 女性の健康管理改善のための研修

**[岩手]** ◆岩手産業保健騒動支援センターで新型コロナウイルス 5 類移行によりがん相談センターを有する医療機関への周知再開、県内事業所約 4,000 か所にDM送付、治療と仕事の両立支援について労組への説明を初めて実施、自治体や産業保健看護職等の組織からの依頼で講演活動実施

◆岩手県南地域において産業看護職の集いを開催。治療と仕事の両立支援の講義を受講後、交流の場を

設け、意見交換を実施し普段抱える悩みや今後取り組みたい事等意見交換を行った

**[宮城]** ◆仙台産業医学推進協議会 10/10 第3回例会テーマはダイバーシティ

◆「勤労者の健康に関するネットワーク（きんねこ）」を継続して開催中。毎月第3金曜日対面開催  
対象者：産業保健職（産業医、産業保健看護職、心理職、人事など）

◆仙台リワーク支援者 Net：リワーク支援に関わる方を対象に意見交換、介入方法を検討

◆宮城産業看護職 ML にて学会・セミナー情報など定期的に配信継続中

**[福島]** ◆福島産業看護研究会（インテル）にて勉強会を定期開催中（2カ月に一回）。会員数11名。少しずつではあるが若いメンバーが増えてきている

◆福島産保センター主催で研修を実施しており、4-6月は若年労働者の心理特性を理解した職場対応・職場適応、熱中症対策、有害業務の法令、衛生管理者の役割について、7月以降はアルコール・ギャンブル依存症やアンガーマネジメント、パワーハラスメントなど多岐にわたり実施

◆第29回産業保健看護のつどいを7/22開催。LGBTをテーマとした講演を開催



**【編集後記】**

昨年1月より運営委員となりました。岩手は会員数が少ないですがつなげる機会を積極的につくり共に活動する仲間を一人でも多く増やしていきたいと思っております。よろしく願い致します（岩手：多田夕）

### 編集後記

5月も最終週となってしまいましたが、「みちのく」第71号をお届けします。今回は、第83回東北地方会の情報や各部会からの御連絡、今年度から編成された「みちのく」編集委員の自己紹介などを掲載しております。編集委員の皆様、宜しくお願いします。

先週は広島で第97回総会が開催され現地で参加された会員の皆様も多数おられたことと存じます。総会開催の時点で、参加者は（Web参加も含め）5,000人以上とのこと。次回、来年5月の第98回は、東北地方会が主体となり仙台市で開催されます。東北地方会らしい、プログラムと趣向で盛会となりますよう皆様のご協力をお願いいたします。また、本年7月の地方会は同じく仙台市での開催となります。多数の会員の皆様の参加をお待ちしております。東北から産業保健を熱く盛り上げましょう！

近々リニューアルされる地方会HPや、編集委員が中心に作製される次号「みちのく」にもご期待ください。(T.I.)

